

第70回日本生殖医学会学術講演会

AP-48

東京、2025.4.27-28

北山利江、辻尚也、小西晴久、藤原奨、勝佳奈子、森本真晴、門上大祐、中岡義晴、森本義晴

IVF なんばクリニック HORAC グランフロント大阪クリニック

社会的卵子凍結保存の治療成績は医学的卵子凍結の成績と同等であるか

【目的】近年,がん治療前に生殖補助医療実施機関との連携により妊孕性温存治療についての選択肢ができるようになってきた.また,女性の晩婚化などにより卵子凍結を選択する女性が増加してきている.当院では,2022年より社会的卵子凍結を開始し,最近では過去に凍結した卵子の融解に関する問い合わせが始まっている.医学的卵子凍結と社会的卵子凍結のART成績に差がない,という当グループの報告を踏まえ,当院における過去の卵子凍結の成績を今後の卵子凍結の成績向上に活用することを目的とする.【方法】2020年1月から2024年10月までに妊孕性温存を目的として治療した医学的卵子(87症例145周期)と将来の妊孕性温存を目的とした社会的卵子(54症例89周期)のART成績について後方視的に検討を行った.【結果】医学的卵子と社会的卵子の凍結時の平均年齢は(33.1 ± 6.5 歳 vs 38.1 ± 2.9 歳 $p < 0.001$),AMHは(2.77 ± 2.38 ng/ml vs 2.43 ± 1.81 ng/ml $p = 0.36$)であった.平均採卵回数は(1.67 回 vs 1.54 回 $p = 0.92$)平均凍結個数は(10.7 個 vs 11.4 個 $p = 0.59$)であった.当院では,以前から行っている医学的卵子凍結の平均凍結日数が,社会的卵子凍結に比べて有意に長い. (1862.5 日 vs 335.2 日, $P < 0.05$) 医学的凍結卵子の融解率は9.1% (8/87), 個数あたりの融解生存率は91.1% (72/79), 個数あたりの受精率は73.4% (58/79) 全て初期胚までの培養とし移植回数あたりの妊娠率は46.7% (7/15) 出生した2児ともに正期産であった.採卵から移植までの期間は平均2277.1日だった.【結論】妊孕性温存のために卵子を凍結したAYA世代,未婚女性の場合は,原疾患治療後にART治療が開始するまでには長期保存が必要となる.また,社会的卵子凍結の採卵条件も未婚であることとしているため結婚後の移植までには長期間保存の可能性もある.今後長期凍結保存を実施しても妊娠出産できるというデータを提供できることが示唆された.